

## 週日の説教

金 大烈 神父 2010年3月25日(木)

### 《肯定的な心と希望の信仰》

日本に来る前に雑誌で読んだ話です。

1991年9月14日に、大型の台風17号が日本列島を襲いました。九州に上陸した後、全国的に大雨が降り、大きな被害がありました。そして、13日後の9月27日には、今度は台風19号が九州に上陸しました。台風19号は、2時間で九州を通過した後、日本海を通過して北海道へ再上陸し、青森県にも大きな被害を及ぼしました。大きな台風で、日本全体で負傷者が1499名、死者が62名出ました。その時の話です。

台風19号の被害を受けた青森県は、本州の最北端にある県ですね。そして、りんごの生産地です。9月27日くらいでは、ちょうどりんごが熟し、収穫する前です。その時に台風に襲われ、9割のりんごが落ちてしまい、1割だけが残りました。青森県の人々は、ひどくがっかりし、今年の儲けはもう完全に駄目になったと思いました。しかし、1人の農夫が「大丈夫、大丈夫」と言って、笑いながら人々を励ましました。笑っている農夫を見たまわりの人々は、「狂ったのではないか」と言いました。しかし彼は、「私には、残った1割のりんごを活かして、失った9割のりんごの分を儲けられる方法が分かっています。」と言いました。人々は、「それは何ですか。」と聞きました。すると彼は、「こんな強力な台風でも落ちなかったこのりんごを活かしましょう。強力な風にも落ちない『合格のりんご』として、宣伝をしましょう。」と言いました。このりんごは、“台風でも落ちなかったりんご。これを食べれば、試験にも受かります。絶対に落ちません。”という触れ込みで、多くの受験生の人気を呼びました。そして「絶対落ちない合格のりんご」と名付けられ、もとの値段の10倍で売れたのです。そしてその結果、失った9割のりんごの分も戻ってきた、という話です。

さあ、そういうことが本当にありましたか？ 青森県では、結構有名な話のようですね。今日の福音を読んで、その雑誌の話を思い出しました。

天使ガブリエルが現れた時、マリア様は何歳くらいだったのでしょうか。聖書学者たちによりますと、14歳か15歳くらいだったそうです。イエス様が十字架につけられた時、イエス様は33歳くらいでした。ということは、十字架の前で自分の息子が死ぬのを見ていたマリア様は、48歳か49歳くらいだったのでしょうか。

さあ、もし14・15歳の女の子の前に天使が現れたら、恐れることでしょうか。本当に怖いと思うのでしょうか。そして、14・15歳ということは、ある意味では物事がはっきりわからない年齢でもあります。その時に天使が現れて「身ごもるでしょう」と言われたら、“とんでもない”と思うでしょう。だからマリア様も「私は男の人を知らないし、そういうことがあり得るのでしょうか。」と答えました。天使ガブリエルは、ヨハネの父のザカリアにも現れ、「あなたの妻のエリザベトは男の子を産むで

しょう。」と告げます。ザカリアも「とんでもないことです。」と答えました。そして「私の妻が何歳か知らないからそのようなことを言うのでしょ。う。」と反抗をした途端に口がきけなくなったのですね。しかしガブリエルは、マリア様には親切に詳しく説明をします。(笑い) それ「あなたは聖霊によって身ごもり、生まれる子は聖なる子、神の子と言われる」という今日の箇所ですね。その言葉を聞いたマリア様は、「わたしは主のはしためです。お言葉どおり、この身に成りますように。」と答えましたね。しかしこの言葉は、14・15歳の女の子の答えとして、本当に可能なものでしょうか。それを黙想してみて、14・15歳のマリア様は、かなり肯定的な性格だったのではないかと私は思いました。いろいろな恐れがあったと思います。しかし「これからどうなるか分からないけれど、天使が言った話だから、たぶん私にとって大事なことなのだろう。そして、神様は決して悪くはなさらないだろう。」という、無意識的な信仰があったから、このように答えたのではないかと思います。

さあ、皆様はどちらのタイプでしょうか。何かが起こったとき、いつも心配するタイプでしょうか。それとも「大丈夫、大丈夫」というタイプでしょうか。

うわさによりますと、東京のある司祭は、ただ「大丈夫！」という言葉だけで、たくさんの疲れている人を癒しているそうです。皆様は「大丈夫！」という習慣があるでしょうか。それとも、「これは残念だった」とか「しまった、どうすればよかったのか」と、起こったことの何十倍、何百倍も心配ばかりしているのでしょうか。

今日の福音をとおしてもう一回考えてみましょう。信仰者というのは、ゆだねられる人々です。「何があっても神様が守ってくださる」「神様は必ず私たちに一番よい道を望んでいらっしゃる」と信じていることができれば、たぶん私たちは心配ばかりすることから解放されるのではないのでしょうか。

ありがとうございました。